

2010年06月18日版
意見照会用

土砂災害被害想定データ
製品仕様書（事務局素案）

平成22年6月

目次

1. 概覧.....	1
1.1. 地理空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2. 目的.....	1
1.3. 空間範囲.....	1
1.4. 時間範囲.....	1
1.5. 引用規格.....	1
1.6. 用語と定義.....	2
1.7. 略語.....	2
2. 適用範囲.....	3
2.1. 適用範囲識別.....	3
2.2. 階層レベル.....	3
3. データ製品識別.....	3
3.1. 地理空間データ製品の名称.....	3
3.2. 日付.....	3
3.3. 問合せ先.....	3
3.4. 地理記述.....	3
4. データ内容及び構造.....	4
4.1. 応用スキーマUMLクラス図.....	4
土砂災害被害想定データ応用スキーマパッケージ.....	4
土砂災害防止法パッケージ.....	5
砂防三法パッケージ.....	6
土砂災害危険箇所パッケージ.....	7
避難所データパッケージ.....	10
4.2. 応用スキーマ文書.....	11
土砂災害被害想定データパッケージ.....	11
土砂災害防止法パッケージ.....	11
砂防三法パッケージ.....	17
土砂災害危険箇所パッケージ.....	24
避難所データパッケージ.....	38
5. 参照系.....	43
5.1. 空間参照系.....	43
5.2. 時間参照系.....	43

6. データ品質	43
論理一貫性・書式一貫性	43
論理一貫性・概念一貫性	43
論理一貫性・定義域一貫性	44
7. データ製品配布	45
7.1. 配布書式情報	45
7.2. 配布媒体情報	45
8. メタデータ	54

1. 概覧

1.1. 地理空間データ製品仕様書の作成情報

- ・製品仕様書の題名：土砂災害被害想定データ製品仕様書
- ・日付：2010-03-31
- ・作成者：内閣府
- ・言語：日本語
- ・分野：防災
- ・文書書式：PDF

1.2. 目的

本製品仕様書は、土砂災害に関するハザード（想定事象）情報及びリスク（被害想定）情報の基本的な項目を規格化したものである。

本製品仕様書に基づく土砂災害被害想定データは、地域防災計画・ハザードマップ作成の基礎資料として活用及び防災に関する各種サービスで使用されることを想定している。

1.3. 空間範囲

日本

1.4. 時間範囲

（各土砂災害被害想定データによるためここには規定しない。データ整備に際しては、特記仕様書が示す時間範囲を記載する。）

1.5. 引用規格

- ・地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver2.1 平成 21 年 5 月
- ・土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律
- ・砂防法
- ・急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律
- ・地すべり等防止法
- ・砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版（平成 21 年 10 月 国土交通省砂防部砂防計画課）
- ・土砂災害ハザードマップ作成のための指針と解説（案）（平成 17 年 7 月国土交通省河川局砂防部砂防計画課/国土交通省国土技術政策総合研究所/危機管理技術研究センター）

- ・砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）（平成 12 年 7 月 建設省砂防部）
- ・土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）（平成 12 年 7 月建設省砂防部）
- ・急傾斜地崩壊危険箇所等点検要領（平成 11 年 11 月 建設省河川局砂防部傾斜保全課）
- ・土石流危険渓流および土石流危険区域調査要領（案）（平成 11 年 4 月 建設省河川局砂防部砂防課）
- ・地すべり危険箇所調査要領（平成 3 年 3 月 建設省河川局砂防部傾斜地保全課）

1.6. 用語と定義

地理空間情報規格に関する専門用語は「JPGIS Ver. 2.1 附属書 5（規定）定義」を参照。

1.7. 略語

JPGIS	Japan Profile for Geographic Information Standards
JMP	Japan Metadata Profile
UML	Unified Modeling Language

2. 適用範囲

2.1. 適用範囲識別

土砂災害被害想定データ製品仕様書適用範囲

2.2. 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

3.1. 地理空間データ製品の名称

土砂災害被害想定データ

3.2. 日付

2010-03-31

3.3. 問合せ先

内閣府（防災担当）

3.4. 地理記述

日本全国

4. データ内容及び構造

4.1. 応用スキーマ UML クラス図

土砂災害被害想定データ応用スキーマパッケージ





class 砂防三法

<<featureType>>
砂防指定地

- + 範囲: GM_Surface
- + 住所: 住所地番 [1..*]
- + 河川名: CharacterString
- + 溪流名: CharacterString
- + 支溪名: CharacterString [0..*]
- + 指定概要: 指定概要
- + 指定区分: 砂防指定地指定区分 [1..2]

<<dataType>>
指定概要

- + 指定年月日: TM_Instant
- + 告示管轄: 組織コード(砂防指定地) [0..1]
- + 告示番号: Integer
- + 面積: Real [0..1]

<<codeList>>
組織コード(砂防指定地)

- + 内務省 = 101
- + 建設省 = 102
- + 国土交通省 = 103

<<dataType>>
住所地番

- + 市区町村: 市区町村コード
- + 町・字: CharacterString [0..1]
- + 小字: CharacterString [0..1]
- + 地番: CharacterString [0..1]

<<codeList>>
砂防指定地指定区分

- + 2条指定 = 2
- + 6条指定 = 6

<<featureType>>
急傾斜地崩壊危険区域

- + 範囲: GM_Surface
- + 名称: CharacterString [0..1]
- + 所在地: CharacterString [0..1]
- + 指定年月日: TM_Instant [0..1]
- + 告示番号: CharacterString [0..1]
- + 斜面区分: 斜面区分コード [0..1]
- + 調査年月日: TM_Instant [0..1]

<<featureType>>
地すべり防止区域

- + 範囲: GM_Surface
- + 名称: CharacterString [0..1]
- + 所在地: CharacterString [0..1]
- + 告示年月日: TM_Instant [0..1]
- + 告示番号: CharacterString [0..1]
- + 地すべり区分: 地すべり区分コード [0..1]
- + 調査年月日: TM_Instant [0..1]

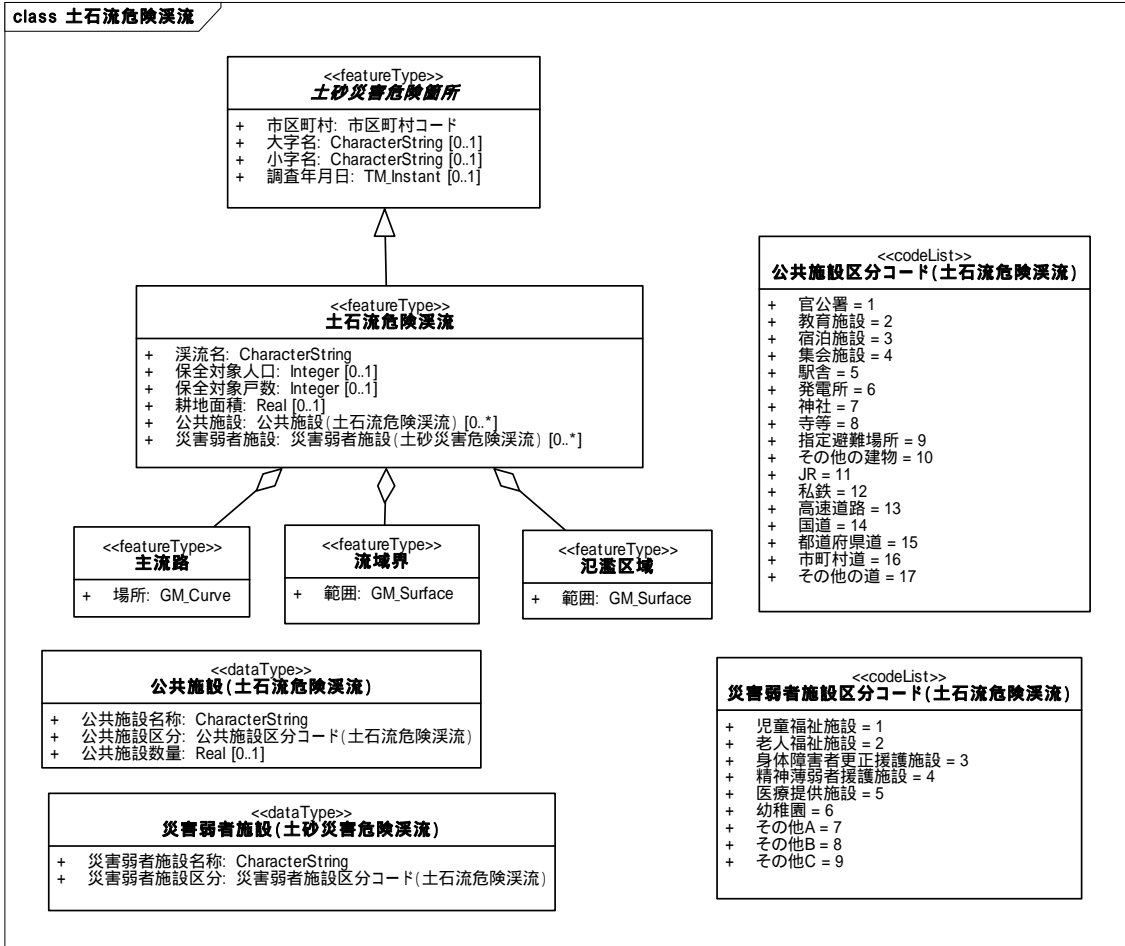
<<codeList>>
斜面区分コード

- + 不明 = 0
- + 自然 = 1
- + 人工 = 2

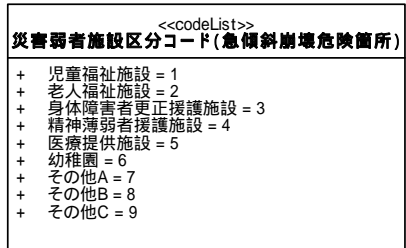
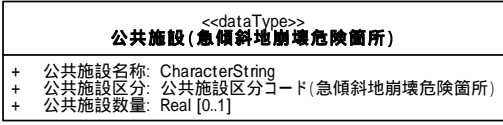
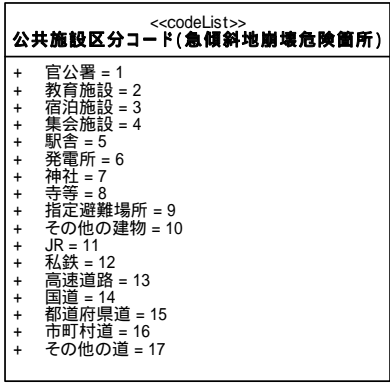
<<codeList>>
地すべり区分コード

- + 国土交通省(建設省)直轄 = 1
- + 補助 = 2
- + その他 = 3
- + 農林水産省直轄 = 4
- + 林野庁直轄 = 5

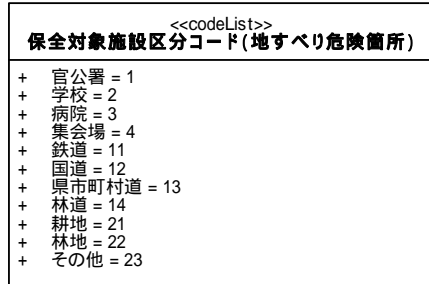
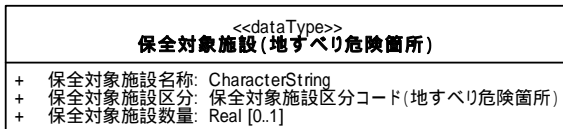
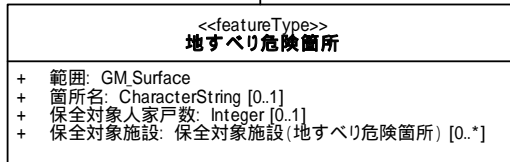
土砂災害危険箇所パッケージ



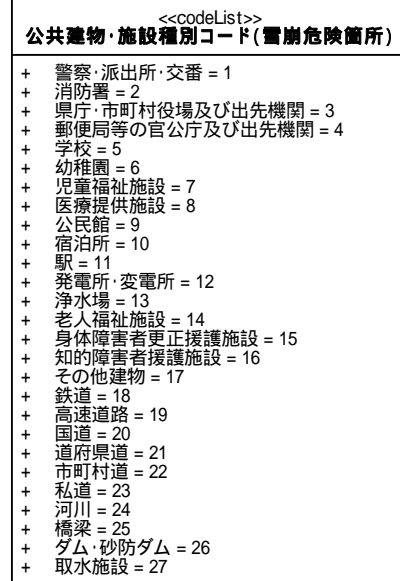
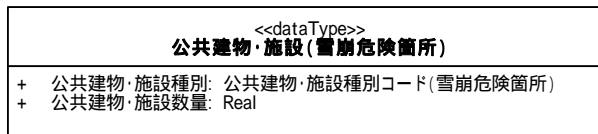
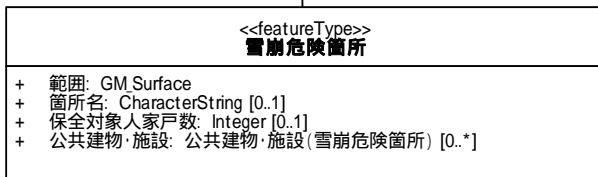
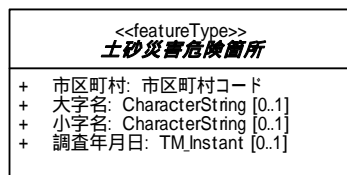
class 急傾斜地崩壊危険箇所



class 地すべり危険箇所



class 雪崩危険箇所



class 避難所

<<featureType>>
避難所

- + 地点: GM_Point
- + 都道府県: 都道府県コード
- + 市区町村コード: 市区町村コード
- + 広域避難場所: boolean [0..1]
- + 一時避難場所: boolean [0..1]
- + 収容避難場所: boolean [0..1]
- + 二次避難所: boolean
- + 整理番号: Integer
- + 施設名称: CharacterString
- + 施設所在地(郵便番号): CharacterString
- + 施設所在地(市区町村名): CharacterString
- + 施設所在地(町丁目名・番(番地)・号): CharacterString
- + 施設連絡先(電話): CharacterString
- + 施設連絡先(FAX): CharacterString
- + 施設管理者名: CharacterString
- + 管理担当窓口: CharacterString
- + 管理担当窓口(電話): CharacterString
- + 管理担当窓口(FAX): CharacterString
- + 収容人数(屋内): Real [0..1]
- + 収容人数(屋外): Real [0..1]
- + 避難施設面積(屋内部分): Real [0..1]
- + 避難施設面積(屋外部分): Real [0..1]
- + 避難施設面積(屋内)未確定フラグ: boolean [0..1]
- + 避難施設面積(屋外)未確定フラグ: boolean [0..1]
- + 保有設備(トイレ): boolean [0..1]
- + 保有設備(入浴・シャワー): boolean [0..1]
- + 保有設備(給食設備): boolean [0..1]
- + 保有設備(冷暖房設備): boolean [0..1]
- + 保有設備(障害者用トイレ): boolean [0..1]
- + 保有設備(エレベーター): boolean [0..1]
- + 保有設備(スロープ): boolean [0..1]
- + 施設構造: 施設構造リスト [0..1]
- + 施設の地上階数: Integer [0..1]
- + 施設の地下階数: Integer [0..1]
- + 災害対策基本法上の避難所としての指定: boolean [0..1]
- + 水害時避難所: boolean [0..1]
- + 震災時避難所: boolean [0..1]
- + 土砂災害時避難所: boolean [0..1]
- + 津波時避難所: boolean [0..1]
- + その他の災害時の避難所: boolean [0..1]
- + 非常用電源の有無: boolean [0..1]
- + 大型車両のアクセスの可否: boolean [0..1]
- + 備考: CharacterString [0..1]

<<CodeList>>
施設構造リスト

- + 屋外施設 = 0
- + コンクリート構造 = 1
- + その他 = 2

4.2. 応用スキーマ文書

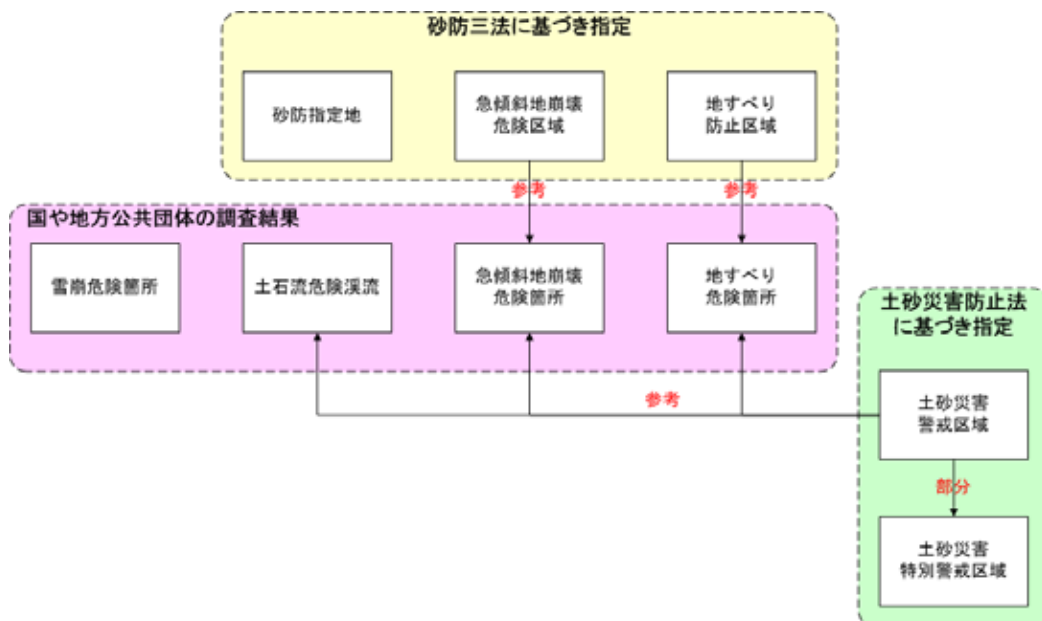
土砂災害被害想定データパッケージ

定義

土砂災害に関するハザード（想定事象）情報及びリスク（被害想定）情報の基本的な項目を含むパッケージ。

対象地物

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、土砂災害危険区域、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、砂防指定地、土石流危険箇所、土石流危険渓流（主流路、流域界、氾濫区域）、急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所、雪崩危険箇所



土砂災害防止法パッケージ

定義

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき指定される警戒区域を含むパッケージ。

対象地物

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

定義

急傾斜地の崩壊等が発生した場合には住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、当該区域における土砂災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域として政令で定める基準に該当するもの。[土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第6条]

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

範囲：GM_Surface

土砂災害警戒区域の範囲。次の範囲を取得する。[土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律施行令第2条]

- ・急傾斜地の崩壊
 - イ 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
 - ロ 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
 - ハ 急傾斜地の下端から急傾斜地高さの2倍（50mを超える場合は50m）以内の区域
- ・土石流
 - 土石流の発生のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域
- ・地滑り
 - イ 地滑り区域（地滑りしている区域または地滑りするおそれのある区域）
 - ロ 地滑り区域下端から、地滑り地塊の長さに相当する距離（250mを超える場合は、250m）の範囲内の区域

区域名称：CharacterString

区域の名前。

土砂災害危険区域DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

所在地：CharacterString

区域が存在する場所、住所。都道府県名、郡・市名、区・町・村名、字名を記入する。

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

例： 県 郡 町 × ×

自然現象の種類：自然現象

土砂災害を引き起こす自然現象（土砂災害防止法第 2 条に規定する土砂災害の発生原因となる自然現象）の種類。

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

公示番号：CharacterString

公示の際に付された番号。

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

公示日：TM_Instant

区域が公示された年月日。

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

例：2010 年 3 月 18 日の場合、20100318 または 2010-03-18 とする。（JIS X 0301）

区域内保全人家戸数 [0..1]：Integer

保全対象となる人家戸数。

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

福祉施設に係るもの [0..1]：Integer

老人福祉施設（老人介護支援センターを除く）、有料老人ホーム、身体障害者更正援護施設、知的障害者援護施設、精神障害者社会復帰施設、保護施設（医療保護施設及び宿泊提供施設を除く）、児童福祉施設、母子福祉施設、母子健康センター、それらに類する施設、盲学校等、病院等の総数。

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

老人福祉施設 [0..1]：Integer

老人福祉施設の数。

老人福祉施設とは、老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター及び老人介護支援センターをいう。（老人福祉法第 5 条の 3）

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

有料老人ホーム [0..1] : Integer

有料老人ホームの数。

有料老人ホームとは、老人を入居させ、入浴、排せつ若しくは食事の介護、食事の提供又はその他の日常生活上必要な便宜の供与をする事業を行う施設であって、老人福祉施設、認知症対応型老人共同生活援助事業を行う住居等でないものをいう。（老人福祉法第 29 条第 1 項）

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

身体障害者更正援護施設 [0..1] : Integer

身体障害者更正援護施設の数。

身体障害者更正援護施設とは、身体障害者更生施設、身体障害者療護施設、身体障害者福祉ホーム、身体障害者授産施設、身体障害者福祉センター、補装具製作施設、盲導犬訓練施設、視聴覚障害者情報提供施設をいう。（旧身体障害者福祉法第 5 条 1 項）

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

知的障害者援護施設 [0..1] : Integer

当該区域内に存在する知的障害者援護施設の数。

知的障害者援護施設とは、知的障害者デイサービスセンター、知的障害者更生施設、知的障害者授産施設、知的障害者通勤寮、知的障害者福祉ホームをいう。（旧知的障害者福祉法第 5 条 1 項）

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

精神障害者社会復帰施設 [0..1] : Integer

精神障害者社会復帰施設の数。

精神障害者社会復帰施設とは、精神障害者生活訓練施設、精神障害者授産施設、精神障害者福祉ホーム、精神障害者福祉工場、精神障害者地域生活支援センターをいう。（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 50 条）

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

保護施設 [0..1] : Integer

保護施設の数。

保護施設とは、救護施設、更生施設、授産施設をいう。（土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律施行令第 6 条）

土砂災害危険区域 DB（各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式）の調査項目。

児童福祉施設 [0..1] : Integer

児童福祉施設の数。

児童福祉施設とは、助産施設、乳児院、母子生活支援施設、保育所、児童厚生施設、児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、情緒障害児短期治療施設、児童家庭支援センターをいう。(児童福祉法第7条)

土砂災害危険区域 DB (各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式) の調査項目。

母子福祉施設 [0..1] : Integer

母子福祉施設の数。

母子福祉施設とは、母子休養センター、母子福祉センターをいう。(母子及び寡婦福祉法第39条)

土砂災害危険区域 DB (各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式) の調査項目。

母子健康センター [0..1] : Integer

母子健康センターの数。

母子健康センターとは、母子保健に関する各種の相談に応ずるとともに、母性並びに乳児及び幼児の保健指導を行ない、又はこれらの事業にあわせて助産を行なうことを目的とする施設をいう。(母子保健法第22条2)

土砂災害危険区域 DB (各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式) の調査項目。

類する施設 [0..1] : Integer

福祉施設に類する施設の数。

福祉施設に類する施設とは、心身障害者福祉協会が設置する福祉施設などをいう。(土砂災害危険区域 DB (各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式) の記入要領から引用)

土砂災害危険区域 DB (各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式) の調査項目。

盲学校等 [0..1] : Integer

盲学校等の数。

盲学校とは、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園をいう。(土砂災害危険区域 DB (各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式) の記入要領から引用)

土砂災害危険区域 DB (各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式) の調査項目。

病院等 [0..1] : Integer

病院等の数。

病院等とは、病院、診療所及び助産所をいう。(土砂災害危険区域 DB(各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式)の記入要領から引用)土砂災害危険区域 DB(各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式)の調査項目。

その他公共施設 [0..*] : CharacterString

前述の施設以外の公共施設の名称を記載する。

土砂災害危険区域 DB(各都道府県から国土交通省への基礎調査結果提出様式)の調査項目。

調査年月日[0..1] : TM_Instant

調査を実施した年月日。

土砂災害特別警戒区域

定義

警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊等が発生した場合には建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限及び居室(建築基準法 第二条第四号 に規定する居室をいう。)を有する建築物の構造の規制をすべき土地の区域として政令で定める基準に該当するもの。[土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第 8 条]

上位クラス：土砂災害警戒区域

抽象 / 具象区分： 具象地物

自然現象

定義

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第 2 条に規定する土砂災害の発生原因となる自然現象。

列挙値

急傾斜地の崩壊

土石流

地すべり

砂防三法パッケージ

定義

砂防法、地すべり等防止法および急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づき指定される区域を含むパッケージ。

対象地物

砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域

砂防指定地

定義

砂防法の規定により国土交通大臣の指定した土地で、砂防設備を要する土地または法律により治水砂防上のため一定の行為を禁止・制限する土地。砂防指定地台帳等整備規則(昭和36年4月1日建設省令第七号)の別記様式第1(砂防指定地台帳)に対応する内容を記載する。[砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第1.1版から引用]

上位クラス：

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

範囲：GM_Surface

砂防指定地の範囲。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第1.1版から引用。

住所[1..*]：住所地番

砂防指定地が存在する住所。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第1.1版から引用。

河川名：CharacterString

砂防指定地が属する河川の名称。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第1.1版から引用。

溪流名：CharacterString

砂防指定地が属する溪流の名称。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第1.1版から引用。

支溪名[0..*]：CharacterString

砂防指定地が属する支溪の名称。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

指定概要：指定概要

砂防指定地の指定概要。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

指定区分[1..2]：砂防指定地指定区分

砂防指定地の指定区分。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

< 定義域 >

以下の分類の基づき定義する。2 のみ、6 のみ、ないし 2 と 6 の両方を記載する。

2：2 条指定

6：6 条指定

住所地番

定義

地番までの住所。[砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用]

属性

市区町村：市区町村コード

砂防指定地が存在する市町村の市区町村コード。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

町・字[0..1]：CharacterString

砂防指定地が存在する市町村内の町または字。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

小字[0..1]：CharacterString

町や村の中の一區画名称。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

地番[0..1]：CharacterString

土地の位置がわかりやすいように、土地一區画（一筆）ごとにつけられる番号。数字やハイフン、カンマは、半角で記載する。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

指定概要

定義

指定地の概要。[砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から

引用]

属性

指定年月日：TM_Instant

指定地が指定された年月日。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

<定義域>

砂防法が公布された西暦 1897 年（明治 30 年）以降。

告示管轄[0..1]：組織コード（砂防指定地）

指定地を告示した省庁のコード。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

告示番号[0..1]：Integer

指定地の告示番号。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

<定義域>

1 以上

面積[0..1]：Real

指定された範囲全体の面積。GIS 等で計測された値ではなく、台帳等の資料に記載された面積の値を記載する。

砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用。

組織コード（砂防指定地）

定義

砂防指定地を告示した省庁のコード番号。[砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用]

コードリスト値

101:内務省

102:建設省

103:国土交通省

砂防指定地指定区分

定義

砂防指定地の指定区分。[砂防台帳記載情報データ作成ガイドライン(案)第 1.1 版から引用]

コードリスト値

2:2 条指定

砂防法 2 条の規定により、国土交通省大臣が指定した砂防指定地。

6:6 条指定

砂防法 6 条の規定により、砂防指定地が国土交通大臣の直轄管理地となる場合。

急傾斜地崩壊危険区域

定義

「急傾斜地」とは、傾斜度が 30 度以上である土地をいう。[急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第 2 条]

崩壊するおそれのある急傾斜地で、その崩壊により相当数の居住者その他の者に危害が生ずるおそれのあるもの及びこれに隣接する土地のうち、当該急傾斜地の崩壊が助長され、又は誘発されるおそれがないようにするため、法第 7 条第 1 項各号に掲げる行為が行なわれることを制限する必要がある土地の区域。都道府県知事は、この法律の目的を達成するために必要があると認めるときは、関係市町村長（特別区の長を含む。）の意見をきいて、指定することができる。（急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第 3 条）

法第 7 条第 1 項

1. 水を放流し、又は停滞させる行為その他水のしん透を助長する行為
2. ため池、用水路その他の急傾斜地崩壊防止施設以外の施設又は工作物の設置又は改造
3. のり切、切土、掘さく又は盛土
4. 立木竹の伐採
5. 木竹の滑下又は地引による搬出
6. 土石の採取又は業種
7. 前各号に掲げるもののほか、急傾斜地の崩壊を助長し、又は誘発するおそれのある行為で政令で定めるもの

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

範囲：GM_Surface

急傾斜地崩壊危険区域の範囲。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

名称[0..1]：CharacterString

急傾斜地崩壊危険区域の名称。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

所在地[0..1] : CharacterString

急傾斜地崩壊危険区域の所在地。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

例： 県 郡 町 × ×

指定年月日[0..1] : TM_Instant

急傾斜地崩壊危険区域に指定された年月日。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

例：2010年3月18日の場合、20100318または2010-03-18とする。（JIS X 0301）

告示番号[0..1] : CharacterString

急傾斜地崩壊危険区域の告示番号。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

斜面区分[0..1] : 斜面区分コード

斜面の区分。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

調査年月日[0..1] : TM_Instant

調査を実施した日。

斜面区分コード

定義

斜面の区分を表すコード。急傾斜地崩壊危険箇所等を自然斜面、人工斜面のいずれかに分類する。

自然：自然力により掲載された斜面。ただし、過去に人工の手を加えたものであっても、その後自然の力により変形等画加わり、自然斜面と見分けがつかないものを含む。

人工：切土、盛土、構造物の設置等人工の手が加わっている斜面。ただし、急傾斜地崩壊防止公示、砂防工事、地産工事を実施したものは自然斜面とする。

[急傾斜地崩壊危険箇所等点検要領から引用]

コードリスト値

0:不明

1:自然

2:人工

地すべり防止区域

定義

地すべり区域（地すべりしている区域又は地すべりするおそれのきわめて大きい区域をいう。）及びこれに隣接する地域のうち地すべり区域の地すべりを助長し、若しくは誘発し、又は助長し、若しくは誘発するおそれのきわめて大きいものであつて、公共の利害に密接な関連を有するもの。

主務大臣は、この法律の目的を達成するため必要があると認めるときは、関係都道府県知事の意見をきいて、指定することができる。[地すべり等防止法第3条]

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

範囲：GM_Surface

地すべり防止区域の範囲。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

名称：CharacterString

地すべり防止区域の名称。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

所在地：CharacterString

地すべり防止区域の所在地。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

例： 県 郡 町 × ×

指定年月日：TM_Instant

地すべり防止区域に指定された年月日。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

例：2010年3月18日の場合、20100318または2010-03-18とする。（JIS X 0301）

告示番号：CharacterString

地すべり防止区域の告示番号。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

地すべり区分：地すべり区分コード

地すべりの区分。

砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）の調査項目。

調査年月日[0..1]：TM_Instant

調査を実施した日。

地すべり区分コード

定義

地すべりの区分を表すコード。[砂防基盤地図データ作成ガイドライン（案）から一部引用]

コードリスト値

1：国土交通省（建設省）直轄

国土交通大臣が施行する地すべり防止工事

2：補助

都道府県知事の施行する地すべり防止工事（地すべり等防止法第 29 条）

3：その他

4：農林水産省直轄

農林水産大臣が施行する地すべり防止工事

5：林野庁直轄

林野庁長官が施行する地すべり防止工事

土砂災害危険箇所パッケージ

定義

土砂災害による被害のおそれがある箇所を含むパッケージ。

対象地物

土砂災害危険箇所、土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所、雪崩危険箇所

土砂災害危険箇所

定義

土石流危険渓流、地すべり危険箇所および急傾斜地崩壊危険箇所の総称である。土砂災害危険箇所は、全国で頻発する土砂災害に対し、計画的に対策を実施するために、全国に存在する土砂災害の発生の恐れのある危険な箇所を抽出・整理し、その実態を把握するため、一定の調査要領に基づき、各都道府県において調査が実施され、公表されている。[土砂災害ハザードマップ作成のための指針と解説(案)から引用]

抽象/具象区分： 抽象地物

属性

市区町村：市区町村コード

土砂災害危険箇所がある市区町村の識別コード。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

大字名 [0..1]：CharacterString

土砂災害危険箇所の大字名。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

小字名 [0..1]：CharacterString

土砂災害危険箇所の小字名。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

調査年月日[0..1]：TM_Instant

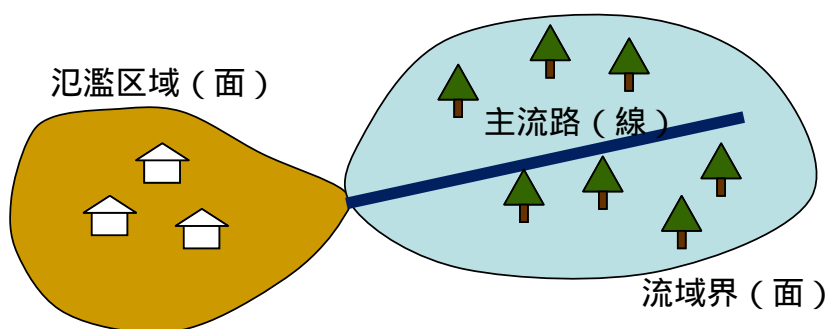
調査を実施した日。

土石流危険渓流

定義

土石流発生の危険性があり、5戸以上の人家(人家がなくても官公署、学校、

病院及び社会福祉施設等の災害弱者関連施設、駅、旅館、発電所等の公共施設のある場合を含む)に被害を生ずるおそれがある溪流、および人家はないが今後新規の住宅立地等が見込まれる溪流。[土石流危険溪流および土石流危険溪流区域要領(案)から引用]



上位クラス：土砂災害危険箇所

抽象/具象区分：具象地物

属性

溪流名：CharacterString

土石流危険溪流の名称。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

保全対象人口 [0..1]：Integer

土石流危険溪流内の保全対象人口。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

保全対象戸数 [0..1]：Integer

土石流危険溪流内に存在する保全対象の人家戸数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

耕地面積 [0..1]：Real

土石流危険溪流内に存在する保全対象の耕地面積。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

単位：ha

公共施設 [0..n]：公共施設(土石流危険溪流)

土石流危険溪流内に存在する公共施設の詳細。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

災害弱者施設 [0..n] : 災害弱者施設 (土石流危険渓流)

土石流危険渓流内に存在する災害弱者施設の詳細。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

公共施設 (土石流危険渓流)

属性

公共施設名称 : CharacterString

公共施設の名称。

公共施設区分 : 公共施設区分コード (土石流危険渓流)

公共施設の区分。

公共施設数量 [0..1] : Real

公共施設区分コード (土石流危険渓流) に対する数量。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

単位 : 建築物の場合は棟(戸)、距離の場合は (m)

災害弱者施設 (土石流危険渓流)

属性

災害弱者名称 : CharacterString

公共施設の名称。

災害弱者施設区分 : 災害弱者施設区分コード (土石流危険渓流)

公共施設の区分。

公共施設区分コード (土石流危険渓流)

定義

土石流危険渓流の公共施設の区分を表すコード。[土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)から引用]

コードリスト値

01:官公署

02:教育施設

03:宿泊施設

04:集会施設

05:駅舎

06:発電所

07:神社

08:寺等

- 09:指定避難場所
- 10:その他の建物
- 11:JR
- 12:私鉄
- 13:高速道路
- 14:国道
- 15:都道府県道
- 16:市町村道
- 17:その他の道

災害弱者施設区分コード（土石流危険渓流）

定義

土石流危険渓流の災害弱者施設の区分を表すコード。[土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)、コード値の説明は土石流危険渓流および土石流危険区域調査要領(案)別紙1から引用。]

コードリスト値

1:児童福祉施設

児童福祉施設とは、助産施設、乳児院、母子生活支援施設、保育所、児童厚生施設、児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センターをいう。(児童福祉法第7条)

2:老人福祉施設

老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人看護支援センターをいう。(老人福祉法第5条の3)

3:身体障害者更生援護施設

身体障害者更生施設、身体障害者養護施設、身体障害者福祉ホーム、身体障害者授産施設、身体障害者福祉センター、補装具製作施設、盲導犬訓練施設、視聴覚障害者情報提供施設をいう。(旧身体障害者福祉法第5条の1)

4:精神薄弱者援護施設

精神障害者生活訓練施設、精神障害者授産施設、精神障害者福祉ホーム、精神障害者福祉工場、精神障害者地域生活支援センターをいう。(旧精神薄弱者福祉法第5条)

5:医療提供施設

病院、診療所、老人保健施設をいう。(医療法第1条の2の)

6:幼稚園

学校教育法第 77 条に基づく幼稚園をいう。

7:その他 A

救護施設、更生施設、医療保護施設（生活保護法第 38 条の 2)3)4)に基づく施設）をいう。

8:その他 B

盲学校、聾学校、養護学校（学校教育法第 71 条に基づく施設）をいう。

9:その他 C

その他実質的に災害弱者に関連する施設をいう。

主流路

定義

土石流発生の危険性がある溪流のうち、主要な流路。

上位クラス：

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

形状：GM_Curve

主流路の形状。

流域界

定義

土石流が発生する危険性がある溪流における降水に由来する表流水の集まる範囲。

上位クラス：

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

範囲：GM_Surface

流域界の範囲。

氾濫区域

定義

地形、過去の土石流堆積物の分布範囲、過去の土石流の氾濫実績等を元に、想定される最大規模の土石流が氾濫すると予想される範囲をいう。

上位クラス：

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

範囲：GM_Surface

氾濫区域の範囲。

急傾斜地崩壊危険箇所

定義

土砂災害の発生が予想される場所で、傾斜度 30 度以上、高さ 5m 以上の急傾斜地で、その斜面が崩れた場合に被害が出ると想定される区域内に、人家が 5 戸以上（人家がなくても官公署、学校、病院および社会福祉施設等の災害時要援護者施設、駅、旅館等のある場合を含む）ある箇所および人家はないが今後新規の住宅立地等が見込まれる箇所。[急傾斜地崩壊危険箇所等点検要領から引用]

上位クラス： 土砂災害被害想定データパッケージ：土砂災害危険箇所

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

範囲：GM_Surface

急傾斜地崩壊危険箇所の範囲。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

箇所名[0..1]：CharacterString

急傾斜地崩壊危険箇所の名称。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

保全対象人家戸数 1 戸建 [0..1]：Integer

急傾斜地崩壊危険箇所内の保全対象人家（1 戸建）の戸数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位:棟

保全対象人家戸数アパート等 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所内の保全対象人家（アパート等）の戸数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位:棟

保全対象公共的建物 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所内の保全対象の公共的建物の数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位:棟

保全対象その他の建物 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所内のその他の保全対象建物の数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位:棟

保全対象公共施設 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所内の保全対象公共施設の数。

公共施設とは、公共施設区分コード（急傾斜地崩壊危険箇所）に記載されている施設をいう。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位：建築物の場合は棟(戸)、距離の場合は（m）

保全対象換算人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所内の人家の戸数を換算した数。

人家の戸数を換算した数とは、次の計算式によって算出する。[土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）]

人家戸数 + 災害弱者施設数（入居定員 ÷ 3）

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位：戸

保全対象斜面上部・木造人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所の斜面上部にある保全対象の木造人家の戸数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位：戸

保全対象斜面上部・木造換算人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所の斜面上部にある保全対象の木造人家の戸数を換算した数。

木造人家の戸数を換算した数とは、次の計算式によって算出する。[土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）]

木造人家戸数 + 木造災害弱者施設数 (入居定員 ÷ 3)

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

単位：戸

保全対象斜面上部・非木造人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所の斜面上部にある保全対象の非木造人家の戸数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

単位：戸

保全対象斜面上部・非木造換算人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所の斜面上部にある保全対象の非木造人家の戸数を換算した数。

非木造人家の戸数を換算した数とは、次の計算式によって算出する。[土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)]

非木造人家戸数 + 非木造災害弱者施設数 (入居定員 ÷ 3)

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

単位：戸

保全対象斜面下部・木造人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所の斜面下部にある保全対象の木造人家の戸数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

単位：戸

保全対象斜面下部・木造換算人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所の斜面下部にある保全対象の木造人家の戸数を換算した数。

木造人家の戸数を換算した数とは、次の計算式によって算出する。[土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)]

木造人家戸数 + 木造災害弱者施設数 (入居定員 ÷ 3)

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

単位：戸

保全対象斜面下部・非木造人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所の斜面下部にある保全対象の非木造人家の戸数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

単位：戸

保全対象斜面下部・非木造換算人家戸数 [0..1] : Integer

急傾斜地崩壊危険箇所の斜面下部にある保全対象の非木造人家の戸数を換算した数。

非木造人家の戸数を換算した数とは、次の計算式によって算出する。[土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)]

非木造人家戸数 + 非木造災害弱者施設数 (入居定員 ÷ 3)
土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。
単位: 戸

公共施設 [0..n] : 公共施設 (急傾斜地崩壊危険箇所)

急傾斜地崩壊危険箇所内に存在する公共施設の詳細。
土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

災害弱者施設 [0..n] : 災害弱者施設 (急傾斜地崩壊危険箇所)

急傾斜地崩壊危険箇所内に存在する災害弱者施設の詳細。
土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

公共施設 (急傾斜地崩壊危険箇所)

属性

公共施設名称 : CharacterString

公共施設の名称。

公共施設区分 : 公共施設区分コード (急傾斜地崩壊危険箇所)

急傾斜地崩壊危険箇所内の公共施設の区分。

公共施設数量 [0..1] : Real

公共施設区分コード (急傾斜地崩壊危険箇所) に対する数量。
土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。
単位: 建築物の場合は棟(戸)、距離の場合は (m)

災害弱者施設 (急傾斜地崩壊危険箇所)

属性

災害弱者施設名称 : CharacterString

公共施設の名称。

災害弱者施設区分 : 災害弱者施設区分コード (急傾斜地崩壊危険箇所)

急傾斜地崩壊危険箇所内の公共施設の区分。

公共施設区分コード (急傾斜地崩壊危険箇所)

定義

急傾斜地崩壊危険箇所の公共施設の区分を表すコード。[コード値は土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)、コード値の説明は急傾斜地崩壊危険箇所等点検要領から引用]

コードリスト値

01:警察・派出所

- 02:消防署
- 03:県庁・市町村役場
- 04:郵便局等の官公庁
- 05:学校
- 06:公民館
- 07:宿泊所
- 08:駅
- 09:発電所・変電所
- 10:浄水場
- 11:その他公共的建物
- 12: J R
- 13:私鉄、
- 14:高速道・国道
- 15:都道府県道
- 16:市町村道
- 17:その他道路
- 18:河川
- 19:橋
- 20:その他公共施設 A (その他 A)
コード区分されていない公共施設のうち、長さ (m) で表す公共施設。
- 21:その他公共施設 B (その他 B)
コード区分されていない公共施設のうち、建物数 (戸) で表す公共施設。

災害弱者施設区分コード (急傾斜地崩壊危険箇所)

定義

急傾斜地崩壊危険箇所の災害弱者施設の区分を表すコード。[コード値は土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル (案) から引用]

コードリスト値

1:幼稚園

学校教育法第 77 条に基づく幼稚園

2:児童福祉施設

助産施設、乳児院、母子生活支援施設、保育所、児童厚生施設、児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センターをいう。(児童福祉法第 7 条)

3:医療提供施設

病院、診療所、老人保健施設をいう。(医療法第1条の2の)

4:老人福祉施設

老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人看護支援センターをいう。(老人福祉法第5条の3)

5:身体障害者更生援護施設

身体障害者更生施設、身体障害者養護施設、身体障害者福祉ホーム、身体障害者授産施設、身体障害者福祉センター、補装具製作施設、盲導犬訓練施設、視聴覚障害者情報提供施設をいう。(旧身体障害者福祉法第5条の1)

6:知的障害者援護施設

知的障害者デイサービスセンター、知的障害者更生施設、知的障害者授産施設、知的障害者通勤寮、知的障害者福祉ホームをいう。(旧知的障害者福祉法第5条1項)

7:その他災害弱者施設

コード区分されていない災害弱者施設をいう。

地すべり危険箇所

定義

地すべりを起こしている、あるいは起こすおそれのある区域で、河川、公共施設、人家等に損害を与えるおそれのある箇所。 [地すべり危険箇所調査要領]

上位クラス：土砂災害危険箇所

抽象/具象区分：具象地物

属性

範囲：GM_Surface

当該箇所の範囲。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

箇所名[0..1]：CharacterString

地すべり危険箇所の名称。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)の調査項目。

保全対象人家戸数合計 [0..1]：Integer

地すべり危険箇所内にある保全対象人家戸数の合計。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位：戸

保全対象施設 [0..*] : 保全対象施設（地すべり危険箇所）

地すべり危険箇所内にある保全対象施設の詳細。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

保全対象施設（地すべり危険箇所）

属性

保全対象施設名称 : CharacterString

保全対象施設の名称。

保全対象施設区分 : 保全対象施設区分コード（地すべり危険箇所）

地すべり危険箇所内の保全対象施設の区分。

保全対象施設数量 [0..1] : Real

保全対象施設区分コード（地すべり危険箇所）に対する数量。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位：保全対象施設区分コードにより変更。

1～4：戸

11～14：m

21～22：ha

その他：なし

保全対象施設区分コード（地すべり危険箇所）

定義

地すべり危険箇所の保全対象施設の区分コード。[コード値は土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）から引用]

コードリスト値

01:官公署

02:学校

03:病院

04:集会場

11:鉄道

12:国道

13:県市町村道

14:林道

21:耕地

22:林地

23:その他

雪崩危険箇所

定義

豪雪地帯指定市町村において、雪崩発生のおそれがある、斜面勾配が 15 度以上かつ高さ 10m 以上を有する斜面で、斜面勾配が 15 度未満となる地点から見通した時に 18 度以上の角度を有する範囲があり、その区域内に人家が 5 戸以上（人家がなくても官公署、学校、病院および社会福祉施設等の災害時要援護者施設、駅、旅館等のある場合を含む）ある箇所。

上位クラス：土砂災害危険箇所

抽象 / 具象区分：具象地物

属性

範囲：GM_Surface

雪崩危険箇所の範囲。

箇所名[0..1]：CharacterString

雪崩危険箇所の名称。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

保全対象人家戸数 [0..1]：Integer

雪崩危険箇所内にある保全対象人家の戸数。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位：戸

公共建物・施設 [0..n]：公共建物・施設（雪崩危険箇所）

雪崩危険箇所内にある公共建物・施設の詳細。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

公共建物・施設（雪崩危険箇所）

属性

公共建物・施設種別：公共建物・施設種別コード（雪崩危険箇所）

雪崩危険箇所内の公共建物・施設の種別。

公共施設数量 [0..1]：Real

公共建物・施設種別コード（雪崩危険箇所）に対する数量。

土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル（案）の調査項目。

単位：建築物の場合は棟(戸)、距離の場合は(m)

公共建物・施設種別コード(雪崩危険箇所)

定義

雪崩危険箇所の公共建物・施設種別のコード。[コード値は土砂災害危険箇所調査結果データベース作成マニュアル(案)から引用]

コードリスト値

- 01:警察・派出所・交番
- 02:消防署
- 03:県庁・市町村役場及び出先機関
- 04:郵便局等の官公庁及び出先機関
- 05:学校
- 06:幼稚園
- 07:児童福祉施設
- 08:医療提供施設
- 09:公民館
- 10:宿泊所
- 11:駅
- 12:発電所・変電所
- 13:浄水場
- 14:老人福祉施設
- 15:身体障害者更正援護施設
- 16:知的障害者援護施設
- 17:その他建物
- 18:鉄道
- 19:高速道路
- 20:国道
- 21:道府県道
- 22:市町村道
- 23:私道
- 24:河川
- 25:橋梁
- 26:ダム・砂防ダム
- 27:取水施設

市区町村コード

定義

市区町村の識別コード。JIS X 0402 による。

避難所データパッケージ

定義

災害時の避難場所として、市区町村ごとに設定されている避難所のデータを定義するパッケージ。

対象地物

避難所

注意事項

避難所

定義

災害時の避難場所として、市区町村ごとに設定されている避難所のデータを定義するクラス。

属性項目等は、「閣副安危第 464 号平成 17 年 11 月避難施設データベースの整備について(通知)」(以下「安危 464 号(通知)」と示す)を参考に設定を行った。

下記属性の「*」印のついている属性項目が「安危 464 号(通知)」にて避難施設データベースに盛り込むべき標準項目に対応する項目。

上位クラス：

抽象 / 具象区分： 具象地物

属性

場所 : GM_Point

避難所の地点。

***都道府県コード** : 都道府県コード

当該避難所がある都道府県を都道府県コードリストから取得。

市区町村コード : 市区町村コード

当該避難所がある市区町村を市区町村コードリストから取得。

広域避難場所 [0..1] : boolean

当該の避難所が、広域避難場所 に設定されているか否かを識別。

広域避難場所：災害発生で大規模な避難を要する場合、それに適した広さなどの十分な条件を有す公園や学校などの地域を指す。各自治体がそれらを広域避難場所として指定している。

一時避難場所 [0..1] : boolean

当該の避難所が、一時避難場所 に設定されているか否かを識別。

一時避難場所：一時的に避難できる広場、公園、空地など。災害の状況を見る場合にも利用する。主に近隣の地域が割り当てられる。こちらはある基準を元に町内会や自主防災組織が指定する。

収容避難場所 [0..1] : boolean

当該の避難所が、収容避難場所 に設定されているか否かを識別。

収容避難場所：自然災害等により住居等を失うなど、継続して救助を必要とする市民に対し、宿泊、給食等の生活機能を提供できる学校などをいう。各自治体が指定する。

二次避難所 [0..1] : boolean

二次的避難所と呼ばれる場合もある。当該の避難所が、二次避難所 に設定されているか否かを識別。

学校などの避難所に比べ、より介護がしやすい環境を持つ施設。

***整理番号[1] : Integer**

整理番号（都道府県毎の施設毎に一意となる番号。特別区、政令指定都市の場合には、別途一意の番号を付する）

***施設名称 [1] : CharacterString**

避難所の施設の正式名称を全角文字で入力。

記入例：「××市立 小学校」「××県立 会館」「財団法人 センター」等

***施設所在地（郵便番号） [1] : CharacterString**

7桁の郵便番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0123456」

***施設所在地（市区町村名） [1] : CharacterString**

施設所在地の市区町村名を全角文字で記載する。

***施設所在地（町丁目名・番（番地）・号） [1] : CharacterString**

施設所在地の町丁目・番（番地）・号を全角文字で入力する。数字も全角で入力する。

例：千代田区永田町1丁目6番1号

***施設連絡先（電話） [1] : CharacterString**

施設の連絡先電話番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0312345678」

***施設連絡先（FAX） [1] : CharacterString**

施設の連絡先 FAX 番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0312345678」

***施設管理者名 [1] : CharacterString**

施設の管理者名を全角文字で記載する。

施設の管理者は事実上の管理権を有している者全般を想定している。例えば、公立の大学にあつては設置者である地方公共団体の長、大学以外の公立学校にあつては設置者である地方公共団体に設置されている教育委員会となる。基本的には防災基本計画における避難所・避難場所の対応と同様になる。

例： 市教育委員会

***管理担当窓口 [1] : CharacterString**

施設の管理窓口（担当部署）の名称を全角文字で記載する。

例：生涯学習課

***管理担当窓口（電話） [1] : CharacterString**

施設の管理担当窓口の電話番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0312345678」

***管理担当窓口（FAX） [1] : CharacterString**

施設の管理担当窓口の FAX 番号を半角数字で記載する。「-」（ハイフン）等は記載しない。

例：「0312345678」

***収用人数（屋内） [0..1] : Real**

基本的に、一人当たりの専有面積を 2 平方メートルとして、収容人数を計算するものとする。

***収用人数（屋外） [0..1] : Real**

基本的に、一人当たりの専有面積を 2 平方メートルとして、収容人数を計算するものとする。

***避難施設面積（屋内部分） [0..1] : Real**

避難施設の面積のうち、収用人員に供する述べ床面積を半角数字で記載する。単位は平方メートルとする。

***避難施設面積（屋外部分） [0..1] : Real**

避難施設の面積のうち、収用人員に供する敷地面積を半角数字で記載する。
単位は平方メートルとする。

***避難施設面積（屋内部分）未確定フラグ [0..1] : Real**

避難施設面積の屋内部分が未確定の場合半角数字で「1」を記載する。

***避難施設面積（屋外部分）未確定フラグ [0..1] : Real**

避難施設面積の屋外部分が未確定の場合半角数字で「1」を記載する。

***保有設備（トイレ） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

***保有設備（入浴・シャワー） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

***保有設備（給食設備） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

***保有設備（冷暖房設備） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

***保有設備（障害者用トイレ） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

***保有設備（エレベーター） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

***保有設備（スロープ） [0..1] : boolean**

当該の施設がある場合には「1」を、無い場合には「0」を記載する。

***施設構造 [0..1] : 施設構造**

施設の構造がコンクリート造り（鉄筋コンクリート造：RC，鉄骨鉄筋コンクリート造：SRCを含む）ならば半角数字で「1」を入力し、それ以外（木造、鉄骨造、構造不明の場合も）なら「2」を入力する。対象の避難所が屋外の場合は「0」をコードリストの施設構造より選択する。

***施設の地上階数 [0..1] : Integer**

施設の地上階数を半角数字で記載する。

***施設の地下階数 [0..1] : Integer**

施設の地下階数を半角数字で記載する。

***災害対策基本法上の避難所としての指定 [0..1] : boolean**

対象避難所が災害対策のための避難所・避難場所として指定されている場合には半角数字で「1」を記載する。

水害時避難所 [0..1] : boolean

対象避難所が水害時の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

震災時避難所[0..1] : boolean

対象避難所が震災時の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

土砂災害時避難所 [0..1] : boolean

対象避難所が土砂災害時の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

津波時避難所 [0..1] : boolean

対象避難所が津波被害の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

その他の災害時の避難所 [0..1] : boolean

対象避難所が水害・震災・土砂・津波以外の災害等の避難所に規定されている場合には、半角数字で「1」を記載する。

***非常用電源の有無 [0..1] : boolean**

非常用電源がある場合には、半角数字で「1」を記載する。

***大型車両のアクセスの可否 [0..1] : boolean**

大型車両のアクセスが可能な場合には、半角数字で「1」を記載する。

***備考 [0..1] : CharacterString**

その他の注記事項として、施設の特徴等を特に記述すべき情報がある場合に記載。

例：NTT 回線以外の通信設備あり、ヘリコプター離発着可能、除雪機あり、等々

施設構造

定義

避難所の構造の種類を識別する。

コードリスト値

0: 屋外施設

1: コンクリート構造

2: その他

コンクリート構造には鉄筋コンクリート造：RC，鉄骨鉄筋コンクリート造：SRCを含む

その他には、木造や鉄筋造等のコンクリート以外の構造および構造不明の場合を含む。

(「閣副安危第 464 号平成 17 年 11 月避難施設データベースの整備について(通知)」より)

5. 参照系

5.1. 空間参照系

参照系識別子：JGD2000 / (B, L)

5.2. 時間参照系

参照系識別子：GC / JST

6. データ品質

ここでは、災害リスク情報が満たすべき最小限の品質要求および評価手法を示す。

論理一貫性・書式一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラムによって検査する。 一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラー割合：0%

論理一貫性・概念一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	XML スキーマに対するデータ集合内の矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合と XML スキーマを比較し、妥当な符号化が行われていることを、検査プログラムによって検査する。 一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。
適合品質水準	XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

論理一貫性・定義域一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>地物属性インスタンスの値が応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合をエラーとし、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率（%） = （定義域外の値をもつ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数） × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>属性の値が、主題属性の定義域および地物の空間・時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。</p> <p>一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性エラーの割合：0%

7. データ製品配布

7.1. 配布書式情報

書式名称

地理マーク付け言語 (GML)

符号化仕様

XML スキーマは、JPGIS Ver. 2.1 附属書 12 (ISO19136) の符号化規則に従う。応用スキーマが参照する標準スキーマ (基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等) は、次の URL に掲載されている XML スキーマを使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

XML スキーマで使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとする。

名前空間：<http://www.cao.go.jp/schemas/mieruka/gml>

名前空間接頭辞：cao

文字集合

UTF-8

言語

日本語を使用する。

7.2. 配布媒体情報

単位

データ整備単位による

媒体名

オンライン

タグ名対応表

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
土砂災害警戒区域		DamagePotentialZone
	範囲	area
	区域名称	nameOfArea
	所在地	address
	自然現象の種類	kindOfNaturalPhenomenon
	公示番号	publicAnnouncementNumber
	公示日	publicAnnouncementDate
	区域内保全人家戸数	numberOfProtectiveFamily
	福祉施設に係るもの	numberOfWelfareFacilities
	老人福祉施設	numberOfWelfareFacilitiesForElderly
	有料老人ホーム	numberOfNursingHome
	身体障害者更正援護施設	numberOfWelfareFacilitiesForPhysicallyHandicappedPerson
	知的障害者援護施設	numberOfWelfareFacilitiesForMentallyRetardedPerson
	精神障害者社会復帰施設	numberOfWelfareFacilitiesForMentalDisorderPerson
	保護施設	numberOfProtectiveFacilities
	児童福祉施設	numberOfWelfareFacilitiesForChild
	母子福祉施設	numberOfWelfareFacilitiesForMumAndChild
	母子健康センター	numberOfHealthCenterForMumAndChild
	類する施設	numberOfResembleFacilities
	盲学校等	numberOfSchoolForTheBlind
病院等	numberOfHospital	
その他公共施設	otherPublicFacilitiesName	
調査年月日	investigationDate	
土砂災害特別警戒区域		SpecialDamagePotentialZone

自然現象		NaturalPhenomenon
砂防指定地		SaboDesignatedArea
	範囲	Area
	住所	address
	河川名	nameOfRiver
	溪流名	nameOfTorrent
	支溪名	nameOfSideTorrent
	指定概要	designationOutline
	指定区分	designatedDivision
住所地番		Address
	市区町村	City
	町・字	choAza
	小字	koaza
	地番	chiban
指定概要		DesignationOutline
	指定年月日	designatedDate
	告示管轄	jurisdiction
	告示番号	publicNotificationNumber
	面積	groundArea
砂防指定地指定区分		SaboDesignatedDivision
組織コード		SaboOrganizationCode
急傾斜地崩壊危険区域		DangerAreaOfSlopeFailure
	範囲	area
	名称	nameOfArea
	所在地	address
	指定年月日	designatedDate
	告示番号	publicNotificationNumber
	斜面区分	categoryOfSlope
	調査年月日	investigationDate
斜面区分コード		SlopeDivisionCode
地すべり防止区域		LandslideRegisteredArea
	範囲	Area
	名称	nameOfArea
	所在地	Address
	告示年月日	designatedDate

	告示番号	publicNotificationNumber
	地すべり区分	categoryOfLandslide
	調査年月日	investigationDate
地すべり区分コード		LandslideDivisionCord
土石流危険箇所		HazardousPlaceOfDebrisFlow
	市区町村	City
	大字名	Aza
	小字名	Koaza
	調査年月日	investigationDate
土石流危険渓流		DebrisFlowProneTorrents
	渓流名	nameOfTorrent
	保全対象人口	numberOfProtectivePopulation
	保全対象戸数	numberOfProtectiveFamily(Kin)
	耕地面積	protectionCultivatedArea
	公共施設	publicFacilities
	災害弱者施設	disasterChallengedFacilities
主流路		MainChannel
	場所	Location
流域界		BasinDivide
	範囲	Area
氾濫区域		FloodArea
	範囲	Area
公共施設(土石流危険渓流)		PublicFacilitiesInDebrisFlowProneTorrents
	公共施設名称	nameOfPublicFacilities
	公共施設区分	categoryOfPublicFacilities
	公共施設数量	numberOfPublicFacilities
災害弱者施設(土石流危険渓流)		DisasterChallengedFacilitiesInDebrisFlowProneTorrents
	災害弱者施設名称	nameOfDisasterChallengedFacilities
	災害弱者施設区分	categoryOfDisasterChallengedFacilities

公共施設区分コード（土石流危険渓流）		PublicFacilitiesDivisionCode_ DebrisFlowProneTorrents
災害弱者施設区分コード（土石流危険渓流）		DisasterChallengedFacilities DivisionCode_ DebrisFlowProneTorrents
急傾斜地崩壊危険箇所		HazardousPlaceOfSlopeFailure
	範囲	area
	箇所名	nameOfArea
	保全対象人家戸数 1 戸建	numberOfProtectiveDetachedHousing
	保全対象人家戸数 アパート等	numberOfProtectiveApartmentHousing
	保全対象公共的建物	numberOfProtectivePublicBuilding
	保全対象その他の建物	numberOfOtherProtectiveBuilding
	保全対象公共施設	numberOfProtectivePublicFacilities
	保全対象換算人家戸数	conversionNumberOfProtectiveHousing
	保全対象斜面上部・木造人家戸数	numberOfProtectedWoodyHousingAtUpperSlope
	保全対象斜面上部・木造換算人家戸数	conversionNumberOfProtectedWoodyHousingAtUpperSlope
	保全対象斜面上部・非木造人家戸数	numberOfProtectedNonwoodyHousingAtUpperSlope
	保全対象斜面上部・非木造換算人家戸数	conversionNumberOfProtectedNonwoodyHousingAtUpperSlope
	保全対象斜面下部・木造換算人家戸数	conversionNumberOfProtectedWoodyHousingAtUnderSlope
保全対象斜面下部・木造人家戸数	numberOfProtectedWoodyHousingAtUnderSlope	

	保全対象斜面下部・非木造人家戸数	numberOfProtectedNonwoodyHousingAtUnderSlope
	保全対象斜面下部・非木造換算人家戸数	conversionNumberOfProtectedNonwoodyHousingAtUnderSlope
	公共施設数量	numberOfPublicFacilities
	公共施設	publicFacilities
	災害弱者施設	disasterChallengedFacilities
公共施設（急傾斜地崩壊危険箇所）		PublicFacilitiesInHazardousPlaceOfSlopeFailure
	公共施設名称	nameOfPublicFacilities
	公共施設区分	categoryOfPublicFacilities
	公共施設数量	numberOfPublicFacilities
災害弱者施設（急傾斜地崩壊危険箇所）		DisasterChallengedFacilitiesInHazardousPlaceOfSlopeFailure
	災害弱者施設名称	nameOfDisasterChallengedFacilities
	災害弱者施設区分	categoryOfDisasterChallengedFacilities
公共施設区分コード（急傾斜地崩壊危険箇所）		PublicFacilitiesDivisionCode_HazardousPlaceOfSlopeFailure
災害弱者施設区分コード（急傾斜地崩壊危険箇所）		DisasterChallengedFacilitiesDivisionCode_HazardousPlaceOfSlopeFailure
地すべり危険箇所		HazardousPlaceOfLandslide
	範囲	Area
	箇所名	nameOfArea
	保全対象人家戸数合計	totalOfProtectiveHousing
	保全対象施設	protectiveFacilities
保全対象施設（地すべり危険箇所）		ProtectiveFacilitiesInHazardousPlaceOfLandslide
	保全対象施設名称	nameOfProtectiveFacilities
	保全対象施設区分	protectiveFacilities

	保全対象数量	numberOfProtectiveFacilities
保全対象施設区分コード (地すべり危険箇所)		ProtectiveFacilitiesDivisionCode_HazardousPlaceOfLandslide
雪崩危険箇所		HazardousPlaceOfAvalanche
	範囲	Area
	箇所名	nameOfArea
	保全対象人家戸数	numberOfProtectiveHousing
	公共建物・施設	publicBuildingAndFacilities
	公共施設数量	numberOfPublicFacilities
	範囲	spatialArea
公共建物・施設(雪崩危険箇所)		PublicBuildingAndFacilitiesInHazardousPlaceOfAvalanche
	公共建物・施設種別	categoryOfPublicBuildingAndFacilities
	公共建物・施設数量	numberOfPublicFacilities
公共建物・施設種別コード (雪崩危険箇所)		PublicBuildingAndFacilitiesDivisionCode_HazardousPlaceOfAvalanche
市区町村コード		CityCode
避難所		Refuge
	地点	place
	都道府県	prefecture
	市区町村コード	city
	広域避難場所	refugeArea
	一時避難場所	refugeAreaForShortTime
	収容避難場所	regufeBuilding
	二次避難所	refugeWithRichFacility
	整理番号	discriminationNumber
	施設名称	buildingName
	施設所在地(郵便番号)	postalCodeOfBuilding
	施設所在地(市区町村名)	addressOfBuilding
	施設所在地(町丁目名・番(番地)・号)	detailAddressOfBuilding

施設連絡先（電話）	telephoneNumuberOfBuilding
施設連絡先（FAX）	facsimileNumberOfBuilding
施設管理者名	administratorOfBuilding
管理担当窓口	administrationCountorName
管理担当窓口（電話）	telephoneNumberOfAdministrationCountor
管理担当窓口（FAX）	facsimileNumberOfAdministrationCountor
収容人数（屋内）	peopleCapacityForIndoorRefuge
収容人数（屋外）	peopleCapacityForOutdoorRefuge
避難施設面積（屋内部分）	areaCapacityForIndoorRefuge
避難施設面積（屋外部分）	areaCapacityForOutdoorRefuge
避難施設面積（屋内）未確定フラグ	indeterminationFlugOfAreaCapacityForIndoorRefuge
避難施設面積（屋外）未確定フラグ	indeterminationFlugOfAreaCapacityForOutdoorRefuge
保有設備（トイレ）	toilet
保有設備（入浴・シャワー）	bathOrShower
保有設備（給食設備）	kitchen
保有設備（冷暖房設備）	airConditioner
保有設備（障害者用トイレ）	toiletForHandicappedPerson
保有設備(エレベーター)	elevator
保有設備（スロープ）	slope
施設構造	buildingStructure
施設の地上階数	numberOfGroundFloor
施設の地下階数	numberOfUnderGroundFloor
災害対策基本法上の避難所としての指定	specifiedByDisasterMeasureBasicLaw

水害時避難所	refugeForFloodDisaster
震災時避難所	refugeForEarthquakeDisaster
土砂災害時避難所	refugeForSedimentDisaster
津波時避難所	refugeForTsunamiDisaster
その他の災害時の避難所	refugeForOtherDisaster
非常用電源の有無	emergencyPowerSupply
大型車両のアクセスの可否	possibilityForHeavyVehicle Access
備考	additionalExplanation

8. メタデータ

災害リスク情報メタデータ仕様プロファイルを使用する。